

社会奉仕活動 シチメンソウ育成事業30年の歩み

Rotary



国際ロータリー第2740地区

佐賀南ロータリークラブ

シチメンソウ清掃活動開始時の様子

1992年
佐賀市南部東与賀町にて
絶滅危惧種である塩生植物「シチメンソウ」の保護活動を始め。

有明海沿岸を清掃活動



▲第1回シチメン草清掃活動

▼第3回シチメン草清掃活動



活動も10年を過ぎた頃の様子

2004年

活動も11年経過し、干潟公園として整備された東与賀町海岸と見事に紅葉する「シチメンソウ」



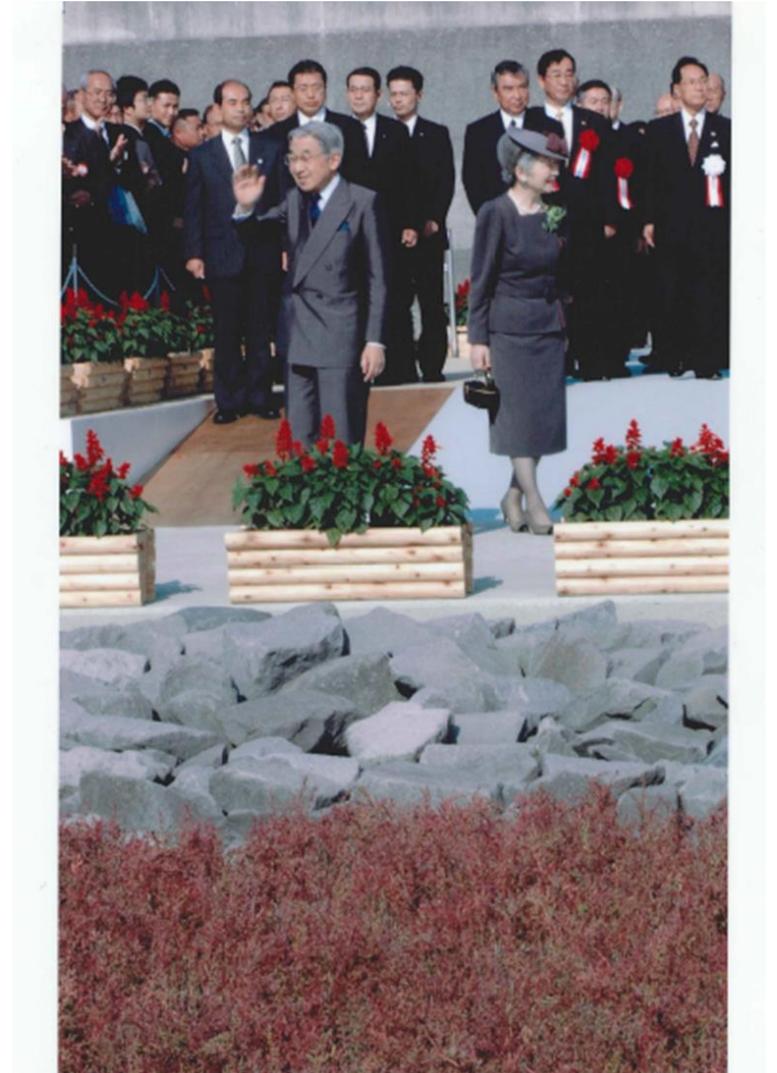
2005年

植樹活動の記念写真と清掃活動



2006年

平成天皇行幸
第26回全国豊かな海づくり大会



栄えある業績

2011～2012年度国際ロータリー
意義ある業績賞を受賞

このプログラムは、重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を地区で表彰するためのRI会長表彰プログラムです。
この賞の目的は、あらゆるクラブに新プロジェクトを奨励し、且つクラブが努力の模範を示す重要性について理解を深めることです。2012年度の本賞受賞は当クラブにとって、長年の取り組みが評価されたものとして、誇りとできるものです。

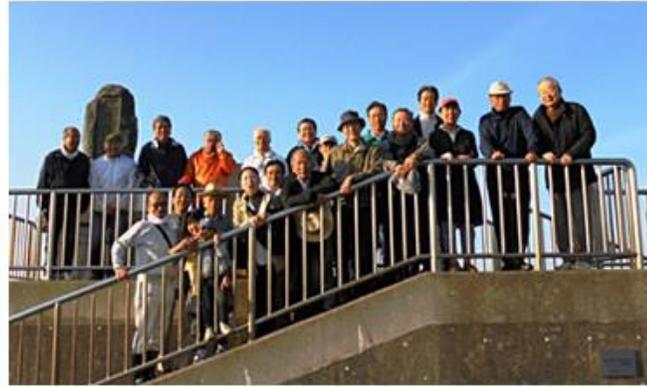
東与賀干潟は、世界的に貴重な鳥獣保護湿原として、
2015年5月29日にラムサール条約に登録されました。



2014年・2015年 美しいシチメンソウの紅葉



今年のシチメンソウは大変生育もよく、11月初旬の完全な紅葉が楽しみです。



2014年度有明海海岸清掃

当クラブ会員とその家族や、地元の社会福祉協議会の方々など
優に120名を超える参加者を得て、
広範囲な東予賀海岸の清掃事業を行いました。



2017年・2018年

2017年

7月に九州北部を襲った豪雨により、有明海沿岸にも多大な被害が発生しましたが、国交省・佐賀県漁協・佐賀県をはじめとする沿岸各県市・ボランティア団体等々のご協力もあり、シチメンソウは今年も無事に生育しています。



九州北部を襲った豪雨により、有明海沿岸域にも多大な被害が発生しています。
流木や家財など様々なものが流れ着いた状態です。
佐賀県は、一か月間をかけて、撤去作業に入りました。
右手は、東与賀干潟公園シチメンソウヤード
写真提供／川村嘉広

2018年

今年のシチメンソウは、夏場の暑さや10月の台風の影響もあり立ち枯れが多く、残念な結果となりましたが、これからも、自然環境の変化も受け入れながら、周辺の清掃に励みたいと思っています。



2019年 これからも頑張って育てていこう！



27年目を迎える佐賀南ロータリークラブ環境保全活動として、10月6日午前8時から東与賀海岸清掃を行いました。

今年は、佐賀北高等学校野球部員なども加わり、地元住民・東与賀支所、社会福祉協議会、郵便局局長会、まちづくり協議会の方々など約100名の参加で清掃活動を行うことができました。

今年のシチメンソウは、これまでになく生育が遅れ、殆ど壊滅状態となっていますが、今後とも、自然環境の変化も受け入れながら、周辺の清掃に励みたいと思っています。



佐賀南ロータリークラブは東よか干潟の環境保全のため これからも活動をつづけていきます



「ひがさす」完成予想図 佐賀市公式サイトより

佐賀南ロータリークラブは1992年より東よか干潟環境保全活動の一環として、当時絶滅危惧種と懸念されていた塩生植物シチメンソウの保護・育成に取り組んで参りました。

生物学者としても知られた昭和天皇が生育の環境を案じられたシチメンソウ。平成18年行幸(第26回全国豊かな海づくり大会)の際にも陛下に保全の環境について御覧頂きました。2015年のラムサール条約湿地登録を受け、私たちが東よか干潟の自然環境全般をどのように守り育てていくのか。当地佐賀にとって大切な課題です。

クラブ創立35周年を迎えるにあたり、創立メンバーとして長年環境保全活動を指導し、地域社会に向け日々変わらず温厚なリーダーシップを発揮し続けた故南里和成会員の在りし日の事績を顕彰し、ご来訪の方々に東よか干潟の眺望を愉しんで頂けるよう双眼鏡を寄贈することと致しました。

多くの皆様にご利用戴き、東よか干潟のゆくすえを皆で共有するキッカケとさせて戴ければ幸いです。

2020年10月
佐賀南ロータリークラブ 会員一同